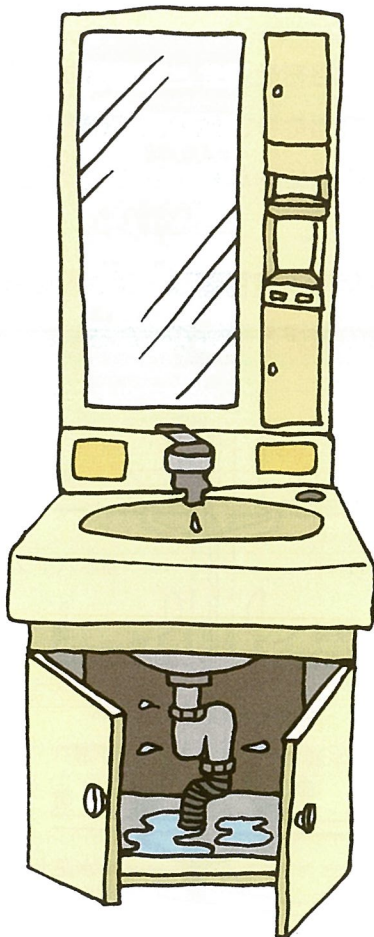


6 洗面所回り

■洗面器・洗面化粧台

洗面器は陶器製ですので、ガラスビン等を落としたりしないように注意してください。また、熱湯を流したりしないようにしましょう。

年月の経過とともに、管の接続部のゆるみなどから、漏水する場合がありますので、日常、見えない部分についても、ときどき扉を開いて漏水していないか確かめましょう。



■洗濯機置場と洗濯機の使用

洗濯機は排水事故や感電事故を起こさないように必ず定められた置場に置きましょう。

洗濯機の排水は、洗濯機用排水トラップにホースをしっかりと差し込んで目皿などに専用の止め具などで固定してから排水しましょう。

なお、掃除は水道水圧を利用してときどき行ってください。洗濯機用防水パンの掃除はスポンジなどやわらかいものを使用しましょう。

なお、洗濯機のアース線は、必ずアースターミナル（接地端子）につないでください。

●防水パンの使用上のご注意

- ① 防水パンは、タバコの火などが直接触れないようにしましょう。
- ② 掃除するときは、タワシなどのキズのつくものは使用しないで、スポンジ、布などに中性洗剤をつけて洗うようにしましょう。
- ③ 防水パンの上に堅い重量物を落とさないようにしましょう。
- ④ 塩酸、溶剤（ベンジン、シンナーなど）を流さないようにしましょう。
- ⑤ 防水パンの排水口の詰まりは漏水の原因となります。定期的に排水口の清掃を心掛けましょう。

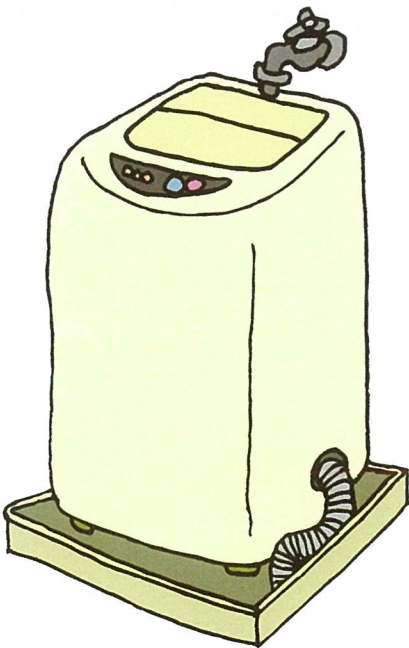
●洗濯設備使用上のご注意

- ① 洗濯機をご使用されますと、水撃（ウォーターハンマー）により給湯器などに音鳴り現象などが発生する場合がありますが、特に心配することはありません。
- ② 洗濯乾燥機を設置される場合には、結露防止のため排気をできるだけ外部へ出すようにしましょう。
- ③ 洗濯水栓と洗濯機の接続部からの漏水が最も多いので、洗濯終了後は、必ず水栓を閉めましょう。



●洗濯洗剤について

合成洗剤を多量に使用すると発泡により、排水管の排水機能を阻害し、漏水事故を起こす場合がありますので適量を使うように注意しましょう。



●床の手入れ

こぼし水の多い所は、洗面所回りと、流し台回りです。洗面所や台所の床には防水してありません。水をこぼしたらすぐふき取ってください。また、板張りの床では、こぼし水で腐食が進みますのでこまめにふきとるとともに、ときどきワックス掛けなどの手入れを心がけましょう。

●漏水にご注意

不注意による漏水で階下に被害を与えた場合は、損害賠償の義務が生じます。

多額の費用負担が発生する場合がありますので、家財保険への加入をおすすめします。